

猪瀬戸湿原

猪瀬戸湿原の今

現在、猪瀬戸湿原は、観光客や登山者にとって魅力的な場所です。2014 年には、トレッキングコースが導入され、城島高原や湿原地帯の自然景観を観光客も楽しめるようになりました。トレッキングの出発地点は、城島高原ホテルです。コースにはいろいろな区間があり、所要時間は 20～60 分です。

このコースで見られるのは、この地域の自然生態系や湿原を生息地とする多様な植物などです。また、大分県別府市や城島を日田とつなぐ、江戸時代(1603-1868)に作られた「旧日田街道跡」もあります。大分県西部に位置する日田は、江戸時代には、幕府の庇護を受けていた天領で、そのため、地方大名（英語では封建時代の統率者と説明）が将軍への上納金や献上品を持って日田へ旅する際に、頻繁にこの道を使いました。地元のお年寄りが、子どもの頃、この道を見たと言っていることから、少なくとも 80 年前までは使われていたと考えられています。

路傍には、小さな神社跡や地蔵があります。地蔵は、旅人を守ると信じられています。また、昔、氷を作って売っていた古い氷室の跡もあります。